


再評価時再評価結果(平成29年度)

担当課 : 砂防防災課
 担当課長名 : 金山 壮一郎

事業の概要

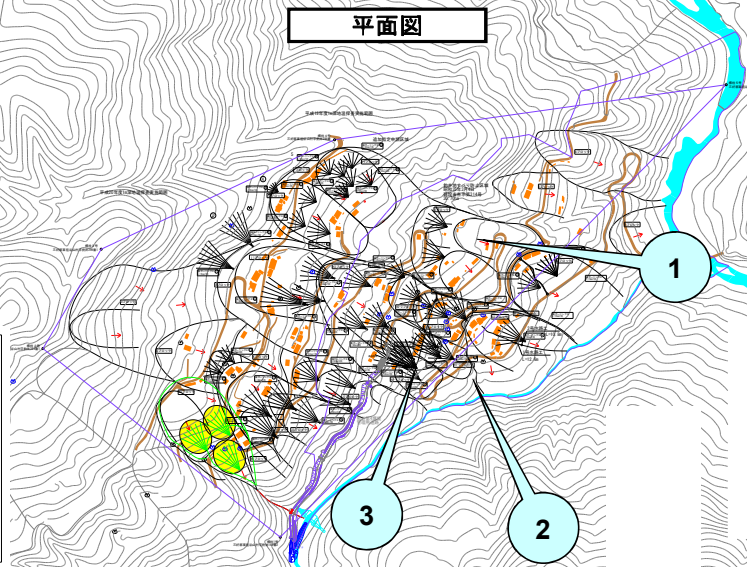
事業名	地すべり対策事業	事業区分	地すべり対策事業	事業主体	徳島県
事業箇所	徳島県三好市東祖谷	箇所名	釣井地すべり防止区域		
事業概要	地すべり防止施設(横ホーリング排水工、水路工)				
事業の目的・必要性	釣井地区地すべり対策事業の目的は、地すべり防止施設等の設置により、人家、公共建物、河川、道路等施設の地すべり活動による被害を除去または軽減する事を目的とする。当地区の保全人家は35戸、地すべりにより市道や宅地に亀裂や沈下が生じており、早期対策の必要がある。				
総事業費	627 百万円	進捗率	98%		


位置図 計画概要図



釣井地すべり防止区域

平面図





①
②
③

凡例

- 地すべり防止区域
- ⊕ 湧水地点
- 包括ブロック
- ⊖ 湧水地点(未採水箇所)
- ⊗ 既設横ホーリング工
- ⊗ H29以降計画横ホーリング工
- 既設水路工

事業評価結果

事業全体の投資効率性	基準年度	B/C	残事業B/C	総費用		総便益	
	平成29年度	5.0	32.4	971百万円	工事費・用地補償費 等	4,847百万円	人家35戸 等
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・人家の保全: 家屋被害等の軽減 ・市道の保全: 道路被害の軽減 ・耕地の保全: 農作物被害の軽減 ・人身被害の軽減 						
社会経済情勢等の変化	当地区では事業着手時から保存人家が39戸から35戸に減少したが、地域の高齢化が進み、自力では避難が困難な住民が増加しているため、依然として早急な対応が必要な状況である。						
事業の進捗状況	13ブロックの内、12ブロックについて対策工を実施済みであり、残る1ブロックについては平成29年度内に対策工を実施し、平成30年度に調査観測をもって地すべりの安定化を確認し、概成する予定である。平成29年度進捗率は事業費ベースで98.4%である。						
感度分析	感度分析の結果においても事業の効果は確保されている。 ※進捗率が98%に達しているため、残B/Cが増となる。 事業費+10%:4.5, 事業費-10%:5.3, 工期+10%:5.1, 工期-10%:4.9, 資産+10%:5.0, 資産-10%:5.0 残事業費+10%:30.8, 残事業費-10%:33.9, 残工期+10%:27.7, 残資産+10%:32.4, 残資産-10%:32.4						
事業進捗の見込み	平成30年度完了に向けて、特に隘路なし。						
対応方針	継続						
対応方針理由	地元からの要望が高く、事業に対し協力的であり、事業進捗が見込めることから総合的に判断した。						

※総費用、総便益は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

継続の理由

上記の費用便益分析の結果より、便益に対する事業費は妥当であり、事業進捗率も98.4%と事業完了に近い。したがって、地域の人命・財産の保全するため、平成30年度の完成に向けて地すべり対策事業を継続する。